



生命保険協会のある新国際ビル



新国際ビル玄関



丸の内仲通りに面した新国際ビル



竣工時の旧生命保険会館



初代会長 阿部泰蔵像



生命保険会社協会当時の總勘定元帳
(明治41年～)



序

生命保険協会は、平成20年12月7日をもって創立100周年を迎え、これを記念して『生命保険協会百年史』を刊行することといたしました。

協会では、これまでに70年史、80年小史、90年小史を刊行してまいりましたが、今回は、創立100年までのあらましを序編とし、平成10年以降の最近10年間の生命保険事業とそれに関連する動向を本編として編纂いたしました。

協会の初代理事会会長である阿部泰蔵は、会長辞任の際、後人への言葉として、「今後益々保険事業が盛んになり、協会も次第に発達し、生命保険事業と協会とは相寄り相助けて離れることの出来ないものであります。どうか生命保険事業のため、この協会が諸君の力によって益々発達することを衷心から希望致すのであります」と述べています。協会と業界を支えた先達たちのご尽力により、明治、大正、昭和、平成期を通じて、生命保険事業は着実に発展し、生命保険は広く社会に受け入れられ、現在では年間18兆円を超える保険金、給付金等のお支払いをするなど、社会保障制度の一翼を担う存在へと発展を遂げております。

一方、この10年間は、生命保険事業を取り巻く環境が著しく変化した時期でありました。バブル崩壊後の経済停滞に伴う歴史的な超低金利の長期化と株式市場の低迷、それに起因する生命保険会社の経営破綻と生命保険契約者保護機構の発足、中央省庁再編に伴う金融庁の設置、銀行窓販の解禁をはじめとする様々な規制緩和、郵政民営化、保険法改正等々、これら諸情勢の変化は、この10年間でまさに激動の時代であったことを如実に表しているものと考えます。

今後も、より一層お客さま視点に立脚し、新たな100年に向け、さらなる生命保険事業の健全な発展のためにしっかりと取り組んでいく所存です。この機会に業界の内外の方々にご協力とご支援をあらためてお願い申し上げます。

平成21年3月

社団法人 生命保険協会
会長 松尾 憲治

歴代会長



阿部 泰 蔵
初 代 (明41.12.21~大6.3.17)



福 原 有 信
第 2 代 (大6.3.17~大12.3.17)



矢 野 恒 太
第 3 代 (大12.3.17~昭2.3.18)



弘 世 助 太 郎
第 4 代 (昭2.3.28~昭11.3.9)



藤 田 讓
第 5 代 (昭11.3.12~昭12.2.8)



成 瀬 達
第 6 代 (昭12.4.2~昭21.12.31)



小 林 中
第 7 代 (昭22.2.27~昭26.4.24)



矢 野 一 郎
第 8 代 (昭26.5.1~昭34.6.16)



牧 野 亀 治 郎
第 9 代 (昭34.6.16~昭36.5.19)



藤 川 博
第10代 (昭36.5.19~昭38.5.23)



弘 世 現
第11代 (昭38.5.23~昭40.6.10)
第17代 (昭50.6.12~昭52.7.15)



春 山 定
第12代 (昭40.6.10~昭42.6.16)



矢田 恒久
第13代 (昭42.6.16~昭44.6.20)



數納 清
第14代 (昭44.6.20~昭46.6.18)



関 好美
第15代 (昭46.6.18~昭48.6.7)



新井 正明
第16代 (昭48.6.7~昭50.6.12)



塚本 亮一
第18代 (昭52.7.15~昭54.7.20)



山中 宏
第19代 (昭54.7.20~昭56.7.17)



高島 隆平
第20代 (昭56.7.17~昭58.7.15)



千代 賢治
第21代 (昭58.7.15~昭59.7.20)



西尾 信一
第22代 (昭59.7.20~昭60.7.19)



川瀬 源太郎
第23代 (昭60.7.19~昭61.7.16)



土田 晃透
第24代 (昭61.7.16~昭62.7.17)



若原 泰之
第25代 (昭62.7.17~昭63.7.15)
第30代 (平4.7.17~平5.7.16)



上山保彦
第26代 (昭63.7.15~平元.7.21)



櫻井孝穎
第27代 (平元.7.21~平2.7.20)
第32代 (平6.7.15~平7.7.21)



伊藤助成
第28代 (平2.7.20~平3.7.19)
第33代 (平7.7.21~平8.7.19)



波多健治郎
第29代 (平3.7.19~平4.7.17)
第34代 (平8.7.19~平9.7.18)



浦上敏臣
第31代 (平5.7.16~平6.7.15)



藤田讓
第35代 (平9.7.18~平10.7.17)



吉田紘一
第36代 (平10.7.17~平11.7.16)



森田富治郎
第37代 (平11.7.16~平12.7.21)
第41代 (平15.7.18~平16.7.16)



宇野郁夫
第38代 (平12.7.21~平13.7.19)
第42代 (平16.7.16~平17.9.16)



金子亮太郎
第39代 (平13.7.19~平14.7.19)



横山進一
第40代 (平14.7.19~平15.7.18)
第43代 (平17.9.16~平18.7.21)



齋藤勝利
第44代 (平18.7.21~平19.7.20)



岡本 圀 衛
第45代 (平19.7.20~平20.7.18)



松尾 憲 治
第46代 (平20.7.18~)

生命保険の月ポスター



平成10年度（第52回）



平成12年度（第54回）



平成11年度（第53回）



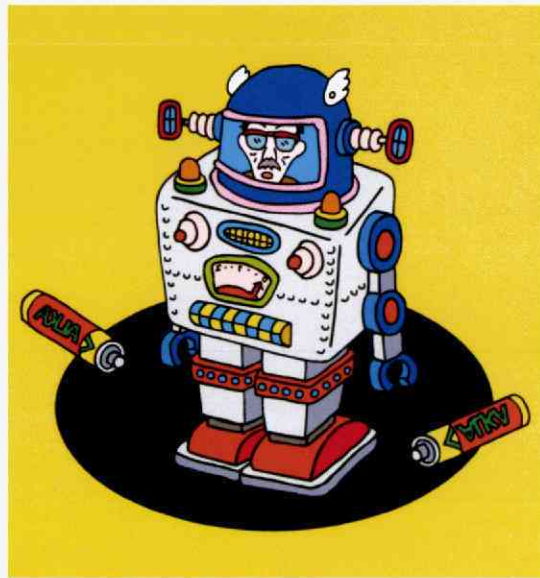
平成13年度（第55回）



平成14年度（第56回）



平成15年度（第57回）



[大賞受賞作品]

でんちがきれた

さいとうよしかず

じいちゃんは
おもちゃの おいしゃさんだ
どんな おもちゃだって
なおせちゃう
とても ゆうしゅうな
おいしゃさんだ

まずは でんちを
とりかえてみる
それから
スイッチまわりを
てんけんする
すすむ わかるか？

ぼくは いま
みならいちゅうだ
うわあ！
でも まごの
ぼくからみても
すこしかわってる
イタズラが だいすきで
ホンキで ふざけているんだ
なかなか いらないよ
こんなオトナは・・・

でも じいちゃんの
ホントに すごいところは
ウラの けんきゅうしつに
かくされている だって
ほんもののロボットを
つくっているんだよ
じいちゃんは てんさい
ロボットはかせなんだ

ぐあい わるいの？
ああ じいちゃん
そろそろ でんちぎれだ
それじゃ あたらしく
すればいいよ
そうだな こんど
すすむ とりかえてくれよ

ついにロボット かんせいだ
やっぱり じいちゃんは すごい
でも そうじゅうは
とても むずかしい

じいちゃんの でんちがきれた
にんげんの でんちは
とりかえられなかった
じいちゃんの うそつき

じいちゃんからの
てがみだって？

これは ひみつさくせんの
けいかくだ！

おそうしきが はじまる
みんな とても いそがしそうだ

たくさん ひとがあつまってきた
うまくゆくかな ドキドキするなあ

よし、いまだ！

さくせんかいし！

えー おいそがしいところ
おあつまりいただき
まことに
ありがとうございます
これは
まごのすすむと
ちからを あわせて
かんせいさせた
ロボットです

ひとあしききに『あのよ』へ
ゆくことになりましたが
これまで とても
たのしい まいにちでした
みなさん ありがとう！
『あのよ』は はじめてなので
すこし ふあんですが
まあ なんとかなるでしょう
もっと すごいロボットを
つくりながら
みなさんの おいでを
おまちしています
それまで おげんきで
さよならー

さよなら
おせわになりました
これはけっさくだ
おつかれさん
すごいロボットだ！
ごくろうさま
ありがとう
あのひとらしい
わすれません
またね

じいちゃん
ひみつさくせんは
せいこうだよね？
ああ よくやった だいせいこうだ

ぼく じいちゃんより すごい
ロボットはかせになるよ
ふふふ それはどうかな？



生命保険協会玄関



生命保険のシンボルマーク
(生命保険協会創立80周年を記念して制定)



役員会議室



会議室入口(旧生命保険倶楽部玄関)



特別会議室



大会議室